

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515479(P2000-515479A)

【公表日】平成12年11月21日(2000.11.21)

【出願番号】特願平10-507626

【国際特許分類第7版】

C 0 5 G 3/08

C 0 5 G 3/00

C 0 5 G 5/00

C 0 7 D 231/12

C 0 7 D 231/16

【F I】

C 0 5 G 3/08

C 0 5 G 3/00 Z

C 0 5 G 5/00 A

C 0 7 D 231/12 Z

C 0 7 D 231/16

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月14日(2004.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 7月14日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

特願平10-507626号 ✓

2. 補正をする者

名称 ビーエーエスエフ アクチエンゲゼルシャフト /

3. 代理人

住 所 東京都中央区京橋2丁目8番18号

昭和ビル (電話 3538-7746 代表)

氏 名 (10035) 弁理士 江 藤 聡 明

A035



4. 補正により増加する請求項の数 0

5. 補正対象書類名

特許請求の範囲



6. 補正対象項目名

特許請求の範囲

7. 補正の内容

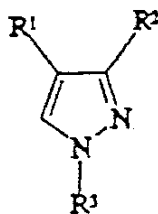
別紙の通り

請求の範囲

1. 無機もしくは有機のポリ酸を、硝酸化成作用禁止剤を含有する粉末状または顆粒状の無機肥料の処理に使用することを特徴とする方法。

2. 上記ポリ酸を少なくとも一種類の硝酸化成作用禁止剤との混合物として使用することを特徴とする、請求項1の方法。

3. 下記一般式



で表わされ、かつR¹が水素原子、ハロゲン原子またはC₁₋₄アルキル基を、R²がC₁₋₄アルキル基を、R³がHまたは基-CH₂OHをそれぞれ意味する場合の化合物またはその麟酸付加塩（R³がHである場合）（ただし、4-クロロ-3-メチルピラゾール、4-フルオロ-3-メチルピラゾール、3-メチルピラゾールホスファート、1-ヒドロキシメチル-3-メチルピラゾールおよび3-メチルピラゾールを除く）を硝酸化成作用禁止剤として使用することを特徴とする方法。

4. 上記化合物が3,4-ジメチルピラゾールまたはその麟酸付加塩、あるいは4-クロロ-3-メチルピラゾールの麟酸付加塩であることを特徴とする、請求項3の方法。

5. 少なくとも一種類の無機もしくは有機のポリ酸、または少なくとも一種類の硝酸化成作用禁止剤と少なくとも一種類の無機もしくは有機のポリ酸との混合物で処理されたことを特徴とする、硝酸化成作用禁止剤を含有する粉末状または顆粒状の無機肥料。

6. 全量に対して、0.01から1.5重量%のポリ酸および0.01から1.5重量%の硝酸化成作用禁止剤を含有することを特徴とする、請求項5の無機肥

料。

7. 少なくとも一種類の無機もしくは有機のポリ酸、または少なくとも一種類の硝酸化成作用禁止剤と、少なくとも一種類の無機もしくは有機のポリ酸との混合物で無機肥料を処理することを特徴とする、請求項3または4の無機肥料の製造方法。

8. 少なくとも一種類の、請求項3または4の化合物を含有することを特徴とする無機肥料。

9. 請求項5、6または8の無機肥料を耕作地の土壤に施与することを特徴とする施肥方法。

10. 請求項3または4の化合物を、液肥または液状肥料調剤の安定化のために使用する方法。

11. N-ヒドロキシメチル-4-クロロ-3-メチルピラゾール、N-ヒドロキシメチル-3,4-ジメチルピラゾール、3,4-ジメチルピラゾールの 麟酸付加塩、4-クロロ-3-メチルピラゾールの 麟酸付加塩、3,4-ジメチルピラゾールの ヒドロクロリドまたはこれらの二種類もしくはそれ以上の混合物。